

I. 総括的概要

22年度の日本商工会議所青年部（日本YEG）は「*Make it happen!* 夢への挑戦」をスローガンに、「組織強化」、「研修活動」、「ビジネス活動」、「提言活動」の4テーマを中心に活動を展開した。

具体的な活動としては、会員相互の「親睦・交流」「研修・研鑽」を促進し、各地のYEG活動の活性化を図ることを目的として、全国9ブロックにおいてブロック大会を開催した。また、会員同士の研鑽・交流を目的として、11月に香川県高松市で「第28回全国会長研修会志國高松道場」を開催、1,335名の参加を得た。さらに、23年2月には、宮城県仙台市で4,007名の参加を得て「第30回全国大会みやぎ仙台大会」を開催。各地商工会議所青年部の意識高揚、連携強化等を図った。

このほか、地域活性化や青年部活動の模範となる事業等に取り組んだ青年部を表彰する「YEG大賞」や、青年部会員を対象に経営能力やプレゼンテーション能力の資質向上研修も盛り込んだ「ビジネスプランコンテスト」、若手国家公務員との交流・意見交換を行う「故郷の新しい風会議」、青年部会員同士のビジネスマッチングを促進する「ご縁満開ビジネスサイト」の運営やビジネス交流会等、多岐にわたって商工会議所青年部および会員企業の発展に資する活動を展開した。

また、東日本大震災への対応と支援として、全国400単会27,000名の青年部会員に義援金募金を呼び掛けるとともに、救援物資の収集・搬送、被災地YEGを通じた情報収集・発信等を実施した。

なお、23年3月末現在の青年部設置数は446カ所（514商工会議所中の設置率86.8%）、うち日本商工会議所青年部加入は400カ所（加入率89.7%）となっている。

平成22年度日本商工会議所青年部事業計画

スローガン

「*Make it happen!* 夢への挑戦」

所 信

商工会議所は明治11年に、地域における商工業の総合的な改善発展を図り、社会一般の福祉の増進に資することを目的に設立されました。それから130年以上の歴史を刻み、それぞれの時代において、地域の商工業者を代表し商工業の振興に力を注ぎ、日本経済の健全な発展に寄与し続けてきました。

戦後の日本経済は当時の起業家たちの努力で奇跡の復興をとげました。そして、その後も高度成長期を迎え、常に右肩上がりの成長を遂げ、大量生産、大量消費を基本とする経済構造を構築し、世界有数の経済大国に成長してきました。しかし近年、日本は人口減少と高齢化社会といういまだかつて経験したことのない時代をむかえ、先人が築きあげた経済構造が崩壊の途をたどり始めています。

今こそ、我々YEGメンバーは、なぜこの変革の時代に生きているのか、そして何をなすべきなのかを真剣に見つめなければなりません。世の中や時代に責任を押し付けて、言い訳したり、嘆いたり、批判しても何も変わりません。未来の起業家の夢、未来の地域の夢、未来の日本の夢に対して、確かな *Confidence*(自信)を持って挑戦し、その夢を叶えることが、我々YEGメンバーが先人から託された使命であると考えます。

日本YEGは、混沌とした時代を向えた現代において、商工会議所の活動の一翼を担い、地域経済をリードする非常に重要なポジションにあります。地域に根を張った地域を愛する若き起業家集団として、出会いを大切に、メンバーたる責任と倫理観を持ち、その使命を果たすためのリーダーシップを担わなければなりません。だからこそ今、我々は何が出来るのかを真剣に考え、行動に移していくことによってあらたな時代と秩序を創造できるはずです。そしてこれからの日本国を動かす青年経済団体に成長しようではありませんか。

「*Make it happen!* = 夢を叶えよう」